



平成18年8月  
第34号

札幌東高等学校同窓会

## ごあいさつ



同窓会長 吉 中 新太郎

札幌東高等学校同窓会々員の皆様におかれましては、国内外各地、各分野で、それのお立場を築かれ、ご活躍のことと思います。同期会の報告や各支部の活動からも、同窓の絆を深められるとともに、来年迎える母校創立一〇〇周年をお祝いする気持ちが高まっていることを感じます。

同窓会では、今春も、進学実績とともに部活動などで、満足度がより高い高校生活を過ごし、「札幌東高校を卒業して良かった」という三百五十八名の新会員を迎えました。母校の卒業式などの学校行事に出席・参加するとき、校訓「克己自彊」のもと、札幌東高らしい精神や気質が、校風という形で引き継がれています。それは同窓生が、社会の各種分野で活動・活躍するときのベースになっています。今後とも、時代の要求に立ち向かうとき、問題を解決するとき、必ず思考や行動の基本となり、

支えとなっていくものと思います。特に、社会の諸問題を思い、昨今の諸事を見るとき、生きることの大切さや人間としての生き方の基本が欠けているように思います。今こそ、札幌東高が一〇〇年の歳月をかけて培ってきたものが、大切になつていている時代だと思います。

同窓会は、まさに迫った母校一〇〇周年の節目を「札幌東高らしくお祝いできるよう」学校や関係諸団体と連携して、「創立一〇〇周年記念事業協賛会」に積極的に参加しています。そのための方策として、同窓会体制の強化と同窓会活動の活性化を図つてきました。各期のご協力と会員のご理解の下、いよいよ本番を迎えます。意義深い一〇〇周年を祝い、次の世代に歴史を引き継ぐため、今後とも広く会員各位のご指導・ご協力をいただけますようお願い致します。

最後に、同窓会の目的である「会員の親睦と母校の発展に寄与する」活動の活性化と会員皆様のご健勝を祈念して、同窓会報三十四号発行にあたつてのご挨拶いたします。

# ごあいさつ



札幌東高等学校長

## 小原信夫

同窓生の皆様には、母校の発展のために、限りない愛情とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

札幌東高等学校同窓生の皆様方の各分野での大いなるご活躍を耳にするたび、私どもも誇りと喜びを感じるとともに、先輩の跡を繼ぐ子どもたちの育成のために新たな気持ちで教育に当たらなければ身の引き締まる思いであります。

明治四十年創立の本校がいよいよ来年に百周年を迎えることは、皆様周知のことではあります。昨年発足した吉中新太郎同窓会長を会長とする関係五団体による「創立百周年記念事業賛会」が多忙極めるなか動き出しましたことも、同窓生の皆様方のお力であると厚く御礼申し上げる次第です。

昨年は、サッカー部が高校総体に駒を進め、体育系の団体競技では、昭和三十

五年のバスケットボール部に継ぐ快挙を成し遂げ、本校の新しい姿を象徴したものが

全国大会十八年連続出場という、道内公立高校の記録を更新中です。また、定期制のバレーボールが全道優勝し全国大会に駒を進めています。

勉学では、今春の卒業生は一九四名が国公立を突破、難関私立大学にも多数の合格者を出し、国公立の数は昨年は二位でしたが、今年は道内一位の実績を示すことができました。北海道大学の合格者は、現役七十六名と、昨年を超える着実かつ力強い伸びを見せま

したが、特に、東京大学の現役合格、東北大学の十二名の現役合格は本校の生徒の資質・能力の高さを実感させるものでした。

これらの輝かしい成果を生み出したものは、一世紀に及ぶ本校の教育の底

に流れる校訓「克己自彊」の下、三万六千名の卒業生を送り出し、国内外の各分野で優れた才能を輩出した東高の伝統であると考えております。

昨年の「同窓会報第三十三号」にも書きましたが、文武両道にわたる榮えある一世紀の歩みの下に、新しい第二世紀の更なる飛躍を目指し、東高校は、「克己自彊」を踏まえた学校づくりと改めて書かせていただきます。

書きましたが、文武両道にわたる榮えある一世紀の歩みの下に、新しい第二世紀の更なる飛躍を目指し、東高校は、「克己自彊」を踏まえた学校づくりと改めて書かせていただきます。

この閉塞感を打ち破り、新しい時代をしっかりと生き抜き、志を高く持った社会のリーダーとしての役割を果たして行くために、自立する高校生、考える高校生を「スクールアイデンティティ」、「スクールミッション」として、新しい世紀へと旅立とうとしています。

平成十九年の創立百周年に向けて、新しい東高の一世紀に向けて、同窓の皆様方に、今までにも増して、一層のお力添えをいただかなければならぬものと思っております。どうか、母校発展のため理解いただきますよう、この紙面をお借りしてお願い申し上げます。

最後になりましたが、昨年は、東京同窓会に出席させていただきましたことがで

きました。札幌市立高等女学校の皆様を始めとする同窓の方々の、母校への熱き思いと若々しく颯爽としたお姿に触れ感銘を受けるとともに、母校の持つ意味にも改めて思いをいたしたところでした。改めて御礼を申し上げる次

☆ スクールアイデンティティ  
(SI)  
☆ スクールミッション (SM)  
「受け身ではなく自ら学び考  
える姿勢を身につける」  
「職業観・人生観について考  
え、身につける」  
「早期から進路意識の向上を  
目指す」

今日の日本は、市場原理主義を中心とする大競争時代となつた感がありますが、一方では、本来表の原理として、言葉でも改めて思いをいたしたところでした。改めて御礼を申し上げ挨拶といたします。

東北大学の十二名の現役合格は本校の生徒の資質・能力の高さを実感させるものでした。

# フレンドシップの心

「四期の会」幹事長 岡田 秀夫

かなか活潑である。

二十九年卒の四期生は、もう卒業して五十二年も経過している。卒業時は、三百十六名であったが、古希を乗り越えた強者は、二百六十余名程である。物故者が、五十一名もいるのである。

やはり、色々な意味で苦難の道程を歩んできているのであろうか。同期会の返事にも、体調が悪いとか、入院中なのでという断り内容が多い。

さて、我々同期会の歩みは、昭和五十八年に、スタートして毎年開催している。今年で二十三回目である。昨年までは、幹事当番は組毎であった。一組から六組までで結構楽しく開催してきた。時には、定山渓で宿泊し朝まで語り飲み明かした同期会も忘れがたい思い出でもある。また、恩師から当時のスナップ写真を借りスライド化して映写したこともある。そこに、青春の一コマに自分をみつけ大喝采であった。逆上るが六十二年に同窓会幹事もあたり、同期結束して企画推進し開催に汗を流したものである。

これらは、全て我々の心を繋ぎ大きな絆となつて脈打つてゐるのである。東京方面でも同期会が結成されな

それらの土台の上に、昨年、更なる発展を願つて同期会幹事を学年全体から選出する体制をとつた。その第一回

目が、この六月七日に東高縁の地「パトクホテル」で開催した。

恩師では、前田孝利先生、遠藤順三

先生、松尾雄一先生の御出席を頂き、

また東京方面から四人の仲間が「里心

がついたので」と言つて駆けつけて貢

い、総勢五十五名の参加者であった。

お蔭で会は大いに盛り上がり、二次会も三十四名も残り、更に、交流の輪が広がり青春時代に戻った一時でもあつた。

今後も我々の期は「四期の会」と命

名し喜寿に向けフレンドシップの心で

緩やかに歩んでいくつもりである。

「四期の会」役員名簿	
会長	川端則和
副会長	佐野康一 高木綾子
監事	南隆唯 博幸
幹事長	岡田秀夫
副幹事長	西村孝之 小村裕
会計幹事	金子晴一
幹事	柳本國博 山木貞一
一組	中平治 田中貞美
二組	寺井マサ子
三組	菱二三雄 山口純三
四組	佐藤千壽子
五組	藤井良助 山岸豊
六組	横関静枝
山口 紗	阿部健次郎 八与一雄
泉 紗	松澤時弘 蓮池穰



## 昨年を振り返つて

第九十六回 札幌東高等学校同窓会総会・懇親会実行委員長

二十二期 鈴木 敬久

第九十六回の同窓会総会・懇親会の実行委員長を努めさせて頂きました十二期の鈴木です。

恩師の皆様、校長先生を始め学校関係の皆様の温かいご支援やご指導に支えられ、また多くのご協力とご協賛を得て、無事に努める事が出来、改めて感謝し、お礼申し上げます。

さて 明年の同窓会は二十二期の仲間と三十六期・五十五期の協力で「思い出深く記憶に残る」同窓会・懇親会にしようと思えたのが、つい先日のように思い出されます。

テーマは、「よみがえれ熱き想い「思い出時間旅行」』とし、ご出席された方々の青春時代を時間を超えてあの頃の熱き想いをタイムマシンに乗つて「思い出時間旅行」に旅立たせようと実行委員の仲間と何度も打ち合わせした事が、今は楽しい思い出になつております。



### ▲吉中同窓会長挨拶



▶ 実行委員長挨拶  
22期 鈴木 敬久

## エピソード① 〈第九十六回の同窓会に向け〉

エピソード② 〈会券・記念誌の「デザ  
インはこれだ!」〉



▲会券等のデザインに使用した油絵と本人  
(22期 藤井さん)

前年（H十六）十一月に二十二期の同期会を定山渓一泊で六十三名が参加。その宴会の席上で実行委員長が決まり、来年八月に向け大いに盛り上がる。

定期山溪で同期会を開催している時、同期の藤井さんが時計台ギャラリーで個展を開催。その中の一枚の油絵を観て、少年時代の熱き想いが蘇り、来年の同窓会のイメージが決定。

二十二期は前回の幹事期より定期的に同期会を開催しており実行委員の仲間はおりましたが、三十六期の幹事探しに一組から十組の卒業生名簿を頼りに知り合い探しを、最後の十組に勤務先に営業で来ていた道川さんが後輩と判り、実行委員のメンバーに圧力募集！

エピソード③ 三十六期の幹事探し

二十二期は前回の幹事期より定期的

#### エピソード④ 「イースト・オジ・バンドの生演奏を」



▲イースト・オジ・バンド



▲新井和子さんのピアノ演奏  
(27期 旧姓:喜多山)

#### エピソード⑤ 「当日は野球で盛り上がる」

る

H十七／五月の実行委員会開催時、イースト・オジ・バンドの結成十周年のコンサート開催が道新の記事に。同窓会には是非参加してもらいたく、実行委員二名（田村＆渡部）をコンサートに花束を持って派遣（出演依頼に成功）。

H十七／八／十九は同窓会当日、実行委員のメンバーは昼にホテルに集合し、さあ準備！

当日は、夏の甲子園大会の準決勝の日。会場等の準備をしながら駒大苫小牧を応援!!携帯電話で毎回の得点を確認し、盛り上がりながら準備を、そして二連覇に大手。

（準決勝 ○駒大苫小牧六一五大阪桐蔭、翌日決勝 ○駒大苫小牧五一三京都外大西）



▲実行委員のメンバーで打上げ

## 東京支部だより

当番幹事 東高八期 石山 和秀

十一月の第二日曜日に開催されることが恒例の平成十七年度東京支部総会は昨年と同じ「虎ノ門バストラル」で二三四年でも指摘されていた通り、ここ数年同窓会総会へ参加者の減少傾向が続きこの傾向になんとか歯止めを掛けたいと云うのが同窓会幹事会での重要なテーマでした。そして平成十六年の総会の参加者が一四名で減少傾向に歯止めがかかったと云うことでしたので、次を引き継ぐ当番期としてはこの流れを確実なものにしたいとの熱い気持ちを持って総会開催の準備を始動しました。当番期に指名されたのは高女二十六期、二十七期、一高一期、東高八期、三十二期。特に高女、一高当番期は合田先輩、河田先輩ほか皆さんが長年東京支部の運営に尽力された方々ばかりで、東高当番期としては非常に心強い思いをいたしました。又八期も同期会活動が活発で「八東会」として毎年春に同期会、夏には暑氣払い、正月は新年会、そして有志で海外旅行の会と常に二十五名前後の仲間が集まつており、今回の総会参加者動員においても大きな力となってくれました。" 参加して良かったと "

同窓会の原点を大事にしよう" このふたつの目標を実現する為にはどうするか、大きさに言えばかなり白熱した議論も交わされました。同窓会といえどお世話をなった恩師をお招きする、これは同窓会の定番ですが現実にはこれが極めて難しい問題であることがわかりました。参加者の減少、これは若い卒業生の参加が極端に少くなつた為ですが、その為同窓会に参加することが出来ないと言う現実です。今同窓会にてこないと言ったが如く、出席する主力卒業期の恩師の方々は既に物故者となられたかご高齢と言うこともあります。

幸い今回は八月に夏の高校総体で母校がサッカーの北海道代表で出場し、東京支部の有志が「市立高女、札幌東高同窓会」と染め抜いた横断幕を持つて千葉の試合会場に応援に駆けつけましたが、其のことが縁となり現職の小原校長をお招きすることが出来ました。又今回はイベンントとして平成十六年度、菊池寛賞を受賞した保坂正康君（八期）の講演を懇親会冒頭に開催しました。皆様ご存知の方も多いと思いますが同君は昭和現代史の第一人者として多くの著作を出されております。同期のよしみと言う事でお願いし快く講演を引き受けてくれました。

同窓会の楽しみの一つに抽選会がありますが、有志の方々に持ち寄って頂いた豪華景品の他に特別賞Aとして長年同窓会東京支部の支部長として支部を導いてこられた漫画家工藤恒美先生に贈られたA四版漫画イラスト四枚、そして特別賞Bとして保坂正康君著作十冊をそれぞれ特別賞として準備し、抽選会を大いに盛り上げることが出来ました。又工藤先生の四作品は二Ｌ版にコピーし四枚セットの参加記念品として参加者全員にお持ち帰りいただきました。この抽選会、前回と同じ様にパソコン、プロジェクターを駆使し、其の操作は三十二期の当番幹事を近藤さん、及川さんにお願いし無事進行できました。各テーブル毎に写した記念写真も前回同様お開きまでには皆さんの手元に無事届けることが出来、最後には校歌、特に壇上で指揮を取る人も居ませんでしたが、テープにあわせそれを歌の思いを校歌に乗せてこの日の総会を無事に終えることが出来ました。

当番幹事として無難なことは思いましたが、今回総会に出席しての感想をアンケートでお願いしました。詳細は省きますが今回の目標の一つだった" 参加してよかつた " と感想が多くなったことでお世話役を無事果たせたと安堵した次第です。

平成十八年の東京支部総会は十一月十二日（日）会場 虎ノ門バストラルで開催されるようです。又、皆様との再会を楽しみに十七年度総会の東京支部便りを終わります。



▶講演中の保坂正康君



▲元気な高女の皆さん

# 函館支部の近況

函館支部長（高女二十三期） 古河 佑子

昨年十七年十月二十九日函館ロイヤルホテルで函館支部六十五周年を無事終了致しました。札幌本部から同窓会

幹事長横田島大介様、本部副

幹事長横田佐和子様、おい

で頂きましてお祝辞を頂戴致しましたがとうございまし

た。出席者は十八名で同窓

会函館支部創立六十五周年

記念誌も小冊子ですが発行し、伝統ある支部を守り、つたえる事が出来ましたのは皆様の熱意のお陰と誇りに思つて居ります。

十六年には函館支部の近況を書いて下さり、「おしまコロニー」見学会もお元気（東高九期）がお亡くなりになりました。

この様にだんだん移り変わって行く事は、仕方がない事ですが、少しでも元気で長生きしてお若い方にバトンタッチして続いて行く事をねがつて居ります。



来年は本部札幌の一〇〇周年、皆で参加しようと約束をしました。

## 我ら東高家族

第九十七回同窓会実行委員長 加藤 敏彦

三番目の息子の高校の進路を決めるとき「お前はどここの高校に行きたいの？」と尋ねると、息子は、「けげんそな顔をして」「高校つて？ 東高以外にどこがあるの？」ともう当然に高校は生まれたから東高に決まっており、それ以外は知らないように聞き返しました。

私は、東高二十三期、妻も同じく二十三期の同期です。二十三期は同期で結婚したものが多く、私が知っているだけではかに四～五組はあるはずです。（今も結婚しているとすればですが）

私の子供達を紹介いたします。長女五〇期、次女五十三期、長男五十七期（現在三年生）で、一家五人全員が同窓生です（まだ一人は現役ですが）。

なぜ、東高に行くようになつたかは、判りません。妻は、高校受験に際して、合格確率重視で選び、私は家から一番近いという理由でした。

子供達には、進路を強制したわけではありませんが、夫婦の高校時代の話とか、同級生たちとの付き合いの中でも、東高を身近に感じていたものと思います。当然、家からも一番通学やすい学校でありましたが……。

家族が同窓であるとこんな楽しみがあります。「むかしさはこうだった。」と親が言うと、子供達は、「今は、こう

よ。」と言い返す。「応援歌や勝ったえ節は歌わないの？」「何それ！」そんな会話が楽しめます。子供の入学式・卒業式に堂々と校歌を歌えます。

学生服もセーラー服もむかしのまま少し値段は上がつたかな、子供の毎日の姿が、自分達の過去とダブりながら、「自分はああだった、ああしたかった。」と反省と後悔の中で、子供たちに同じ思いをさせないよう注意はしているのですが、若い人には若い時にしかできない思いがあるようです。これも経験するしか仕方がありません。

今、東高時代の様々な思い出を浮かべていると、子供たちもいつの日か、私と同じような歳になつた時に自分の青春時代を重ね、同じような思いをめぐらせる日が来るのではないかと思います。そして子供達が行う同窓会に参加するのを楽しみます。そして子供達には、進路を強制したわけではありませんが、夫婦の高校時代の話を



## 第二十五回メモリアル記念大会

平成十八年六月十五日（木）札幌芙蓉カントリークラブ  
ゴルフ部会長 氏家 保嗣

強風の吹く中、氏家ゴルフ部会長の挨拶、南コース

藤田先輩、中コース中村先輩、北コース中島先輩の始球式によりスタート。

参加各コース十六名、合計参加人数四十八名にて風に苦労しながらも優勝目指し、白球を追い、時にはO B、時にはパー��이、時にはチヨロありと和気あいあいのうちに無事終了致しました。  
尚、小林副会長よりご寄贈いただきありがとうございました。



▶団体優勝 七期



◀個人優勝・準優勝

団体賞		優勝	阿部 伸一（七期）
		準優勝	秦 敬（五期）
一位	七期	三位	伊藤 弘幸（十三期）
阿部 伸一		四位	長谷 泰一（七期）
酒井 了		五位	中澤 弘志（十六期）
伊藤 秀行	六期	ペストクロス賞	伊藤 弘幸（十三期）
石山 勝人			85 85 80 87 87
関 泰	五期		12.0 12.0 7.2 14.4 15.6
晃 敬			73.0 73.0 73.0 87.2 67.1 1.4
77.472.6		80 ストローク	
中川 幸男			
77.474.2			
計			
301.6			
74.673.4			
東野 寿夫			
74.471.4			
深川 俊三			
78.473.0			
大澤 邦彦			
77.474.4			
計			
299.8			
297.2			

※ゴルフコンペ表彰式の折、「二〇〇周年記念チャリティ」に参加ゴルフ会員の協力を戴きました。ついては  
净財は一〇〇周年協賛会に寄贈させて戴きます。  
ありがとうございました。

ゴルフ部会幹事 中島 重勝（十三期）

来年も多くの参加をお待ちしております。  
成績は次の通りです。（ダブルペリア十八ホールス

トローカープレイ）



# 第57回 東高祭

テーマ  
P a s s i o n

7月14日・7月15日

好天に恵まれ、今年一番の暑さの中東高祭が開催されました。

のど自慢・廊下に張られたPOPアート、ライブ、コンサートなどなど、若い皆んなの情熱で校内は一層熱くなりました。

二階の同窓会室では、古江先生（東

高十六期）の尽力によりパネルの展示、同窓会総会資料などテーブルに置かれ、皆様に楽しんでもらいました。

同窓会では恒例の、在校生にお茶・ジュースを配りました。十四日、朝十時より二時間で予定の六〇〇個が全部無くなりました。十五日は一般公開日でしたので、PTAの方々、先生、卒業生が多く訪れ、無事配布終了出来ました。

また、二日間に渡り、西岡千朝子（十四期）様の応援をいただき感謝いたします。お礼申し上げます。

母校担当

高女　二十四期　秦  
東高　十四期　藤枝泰  
十九期　中村紀規子



## 終身会費納付状況 (平成17年8月～平成18年6月の納付者)

会員番号	氏名	卒業期
123	鎌田 勝幹	東高21期
124	真保 英子	一高2期
125	遠藤 玲子	一高2期
126	武田 清克	東高1期
127	伊藤 弘行	東高13期
128	小笠原克彦	東高15期
129	宍田 良子	東高27期

期別	人数	期別	人数
高女4	5	東高7	2
高女13	1	東高8	2
高女16	1	東高9	5
高女21	4	東高10	4
高女24	8	東高11	1
高女25	2	東高12	3
高女26	4	東高13	4
高女27	3	東高14	6
一高1	14	東高15	3
一高2	13	東高16	2
東高1	6	東高18	2
東高2	4	東高19	1
東高3	4	東高21	2
東高4	10	東高22	1

そこで平成八年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年五〇〇円とする」に加えて、「毎年納付にかえて、一〇、〇〇〇円を一時に納入することができます」と改正しました。さらに、昨年度の総会において、会則を「年会費は、一ヶ年一、〇〇〇円とする。但し、毎年納付にかえて、一〇、〇〇〇円を一時に納付することにより、終身会費とすることができる。」と改正しました。

終身会費納入の皆様には、「終身会員証」を発行しております。現在までの終身会費納入者は、毎年八月発行の同窓会報にご氏名を報告の通り、本年六月末で一二九名となっていますが、これは会員数に対しておりますが、これは会員数に対して

終身会費納入の皆様には、「終身会員証」を発行しております。現在までの終身会費納入者は、毎年八月発行の同窓会報にご氏名を報告の通り、本年六月末で一二九名となっていますが、これは会員数に対しておりますが、これは会員数に対してあります。終身会費納入にご賛同下さいましては、終身会費の趣旨をご理解下さい、終身会費納入にご賛同下さいます。

## 終身会費のお願い

期別	人数	期別	人数
東高23	1	東高34	2
東高26	1	東高35	1
東高27	2	東高37	1
東高29	1	東高46	1
東高31	1	合計	129
東高33	1		

(平成17年6月現在)		
札幌市立高等女学校	28名	
札幌市立第一高等学校	27名	
北海道札幌東高等学校	74名	
計	129名	

# 平成十七年度 東高同窓会会務報告

平成17年7月1日から1年間の主な会務について報告いたします。

## 1 総会及び支部活動、役員会等

- (1) 第96回同窓会総会  
テーマ…よみがえれ熱き想い「思い出時間旅行」  
平成17年8月19日(金)午後6時30分懇親会／札幌後楽園ホテルにて  
当番期…東高22期、35期、55期  
恩師、母校ご来賓はじめ多数のご出席をいただき盛況でした。各位のご協力と当番期のご尽力に厚く御礼申し上げます。
- (2) 第28期東京支部総会  
平成17年11月13日(日)13時30分  
16時／虎ノ門「鳳凰東」  
当番期…高女26・27期、一高2期、東高8・32期  
保阪正康氏(作家、東高8期)の講演などあり盛況。学校長と、本部から会長他2名が出席。
- (3) 第65回函館支部総会  
平成17年10月29日(土)17時～20時／函館ロイヤルホテル「ぎょくらん」  
本部から3名が出席。65周年記念誌の作成・配布。
- (4) 常任幹事会  
平成18年2月4日(金)午後6時30分／中村屋旅館／出席57名／会務中間報告、総会の終了報告および次の準備状況報告等  
平成18年6月12日(月)午後6時30分／恵愛ビル／出席45名／総会議案審議等

(5) 定例幹事会  
平成18年6月26日(月)午後6時30分／恵愛ビル／出席61名／総会議案審議、会券配布等

(6) 執行委員会  
平成17年8月19日(金)／札幌後楽園ホテル

(3) 新入会員関係  
①新入会員入会式  
平成18年2月28日(火)午後2時／第56期卒業生新幹事委嘱、卒業記念品の贈呈

(2) 新幹事セミナー  
平成18年5月15日(月)午後6時30分／恵愛ビル／出席24名／第56定期新幹事の研修と交流会

(4) 母校100周年記念事業協賛会に参画

○ 千円／協賛各位へのお礼と報告は8月末に郵送。協賛いただいた皆様と、東京支部他の応援に改めて御礼申し上げます。

平成18年2月28日(火)午後2時／第56期卒業生新幹事委嘱、卒業記念品の贈呈

8、母校100周年記念事業に、会員の総意を結集して参画し、母校の発展に寄与します。

○ 同窓会事務局から  
○ 同期会に助成金  
○ 住所などの変更はハガキで別掲(16ページ参照)

○ 会費について  
上一年会費と終身会費は、同窓会運営の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。会員は、事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。(連絡先は役員名簿参照)

備え、事務局体制の強化・効率化と役員の増員及び役員会組織運営の拡充を計ります。また、支部規程をはじめとする会則の検討を進めます。

平成17年8月19日(金)／札幌東高校同窓会報第33号を発刊、配布。

8、母校100周年記念事業に、会員の総意を結集して参画し、母校の発展に寄与します。

○ 同窓会事務局から  
○ 同期会に助成金  
○ 住所などの変更はハガキで別掲(16ページ参照)

○ 会費について  
上一年会費と終身会費は、同窓会運営の大切な財源として運用され、母校のスポーツ・文化活動や学校祭などの助成にも活用されています。会員は、事務局又はメンテナンスの会社へハガキでお知らせ下さい。(連絡先は役員名簿参照)

備え、事務局体制の強化・効率化と役員の増員及び役員会組織運営の拡充を計ります。また、支部規程をはじめとする会則の検討を進めます。

平成18年6月15日(木)第25回メモリアル大会開催

平成17年7月14日(木)～16日(土)  
① 平成18年3月、例年通り、学友会活動(学友会、体育部活動・文化部活動等)を開設し、アルバム・パネル展示、在校生にお茶を提供。

平成17年7月14日(木)～16日(土)  
② 在校生支援  
③ 在校生に対し、学校祭協賛事業と体育・文化・学友会活動の助成を行なう他、母校関係団体の運営と関連事業に参画します。また、新入会員の同窓会入会式と新幹事研修会を開催し、組織強化を計ります。

4、会員名簿を発刊するほか、幹事名簿の充実につき継続して取り組みます。また、同窓会の情報公開のありかたについてさらに検討を進めます。

5、終身会費会員制度の拡充のため、運営についての検討を継続します。

6、「札幌東高同窓会報」第34号を発行します。

7、会員増加と母校・同窓会の将来に

## 平成十八年度 事業計画(案)

1. 定期総会及び幹事会・常任幹事会・各種役員会を開催します。
2. 支部・同期会・同好会に対する支援を行います。
3. 在校生に対し、学校祭協賛事業と体育・文化・学友会活動の助成を行なう他、母校関係団体の運営と関連事業に参画します。また、新入会員の同窓会入会式と新幹事研修会を開催し、組織強化を計ります。
4. 会員名簿を発刊するほか、幹事名簿の充実につき継続して取り組みます。また、同窓会の情報公開のありかたについてさらに検討を進めます。
5. 終身会費会員制度の拡充のため、運営についての検討を継続します。
- 6、「札幌東高同窓会報」第34号を発行します。
7. 会員増加と母校・同窓会の将来に

003-0809

札幌東高同窓会事務局

事務局担当 古江・曲木  
木村・林・三島

011-831-6332  
(札幌東高校内)

# ■会計報告

## 平成17年度決算報告並びに平成18年度予算（案）

(単位：円)

(平成17年7月1日から)  
(平成18年6月30日まで)

(平成18年7月1日から)  
(平成19年6月30日まで)

### ☆一般会計 平成17年度決算書

(収入の部)

科 目	予 算	決 算
前年度繰越金	9,201	9,201
新入会員会費	1,074,000	1,074,000
会 費	350,000	439,500
雑 収 入	646,799	341,892
計	2,080,000	1,864,593

(支出の部)

科 目	予 算	決 算
事務局費	80,000	70,836
事務用品費	10,000	12,074
印刷費	10,000	0
通信費	115,000	138,880
慶弔費	70,000	77,750
会議費	430,000	475,730
総会関係費	300,000	300,000
会報発行費	155,000	153,090
学校祭関係費	135,000	108,455
同期会等助成費	180,000	60,000
新会員関係費	250,000	200,292
体育文化助成費他	230,000	230,000
特別会計積立金	100,000	30,000
予備費	15,000	0
次年度繰越金	0	7,486
計	2,080,000	1,864,593

### 平成18年度予算（案）

(収入の部)

科 目	予算額 円	摘要
前年度繰越金	7,486	
新入会員会費	1,074,000	358名×3,000円=1,074,000円
会 費	420,000	年会費・終身会費
雑 収 入	328,514	総会準備金戻入、総会剩余金外
計	1,830,000	

(支出の部)

科 目	予算額 円	摘要
事務局費	65,000	諸会議費・交通費外
事務用品費	5,000	事務用消耗品
印刷費	5,000	諸印刷代
通信費	115,000	郵便切手・ハガキ、振込手数料
慶弔費	70,000	慶弔費、餞別
会議費	410,000	役員会・諸会議費
総会関係費	300,000	総会準備金
会報発行費	155,000	会報印刷費外
学校祭関係費	105,000	学校祭協賛諸費
同期会等助成費	150,000	同期会・同好会助成
新会員関係費	205,000	記念品代、研修費
体育文化助成費他	230,000	体育文化後援会・東高校後援会助成
特別会計積立金	0	積立金繰り入れ
予備費	15,000	
計	1,830,000	

### ☆特別会計他積立金決算書

平成16年7月1日現在	金額	増 額		減 額		平成18年6月30日現在	金額
		金額	事由	金額	事由		
1 特別会計積立金						1 特別会計積立金	
(1) みずほ信託銀行札幌支店						(1) みずほ信託銀行札幌支店	
貸付信託	300,000					貸付信託	300,000
金銭信託	411	50	利息			金銭信託	461
小 計	300,411	50		0		小 計	300,461
(2) 中央三井信託銀行札幌支店						(2) 中央三井信託銀行札幌支店	
貸付信託	2,600,000					貸付信託	2,600,000
金銭信託	116,193	449	利息			金銭信託	116,642
小 計	2,716,193	449		0		小 計	2,716,642
(3) 札幌信用金庫本店						(3) 札幌信用金庫本店	
定期預金(14.6.28~17.6.28)	2,007,219	3,383	利息			普通預金(17.10.19~)	2,010,602
小 計	2,007,219	3,383		0		小 計	2,010,602
(4) 札幌銀行菊水支店						(4) 札幌銀行菊水支店	
ア 定期預金(15.11.26~16.11.26)	974,281	30,000	積立			ア 普通預金(17.6.15~)	1,004,281
イ 定期預金(13.6.27~16.6.27)	100,000					イ 定期預金(13.6.27~18.6.27)	100,000
ウ 定期預金(14.6.24~17.6.20)	100,000					ウ 定期預金(14.6.20~18.6.20)	100,000
エ 定期預金(15.6.24~18.6.24)	100,000					エ 定期預金(15.6.24~18.6.24)	100,000
オ 定期預金(17.6.15~20.6.15)	100,000					オ 定期預金(17.6.15~20.6.15)	100,000
小 計	1,374,281	30,000		0		小 計	1,404,281
2 預り金会計						2 預り金会計	
百周年記念基金(普通預金)						百周年記念基金(普通預金)	
(1) 札幌銀行菊水支店	2,219,747	0		2,219,747	協賛会へ移行	(1) 札幌銀行菊水支店	0
小 計	2,219,747	0		2,219,747		小 計	0
3 名簿基金						3 名簿基金	
(1) 札幌銀行菊水支店						(1) 札幌銀行菊水支店	
定期預金(16.7.29~17.7.29)	100,086	25	利息			定期預金(16.7.29~17.7.29)	100,111
小 計	100,086	25		0		小 計	100,111
合 計	8,717,937	33,907		2,219,747		合 計	6,532,097

### 監査報告書

平成17年度の同窓会会計について、毎月作成の「同窓会会計出納計算書」、その都度作成する「収入・支出決議書」、その他「証拠書類及び帳簿・通帳」の監査を行いました。

監査の結果、会計処理の手続き方法は、適切であると認められました。

よって、当監査役は上記決算書が、平成18年6月30日現在の財務状態を適正に表示していることを報告いたします。

平成18年7月7日 監査役 中村瞳三四  
監査役 白崎 司

# 札幌東高等学校同窓会会則

## 第1章 総 則

- 第1条 本会は札幌東高等学校同窓会と称し連絡運営のため事務局を母校におく。  
(白石区菊水9条3丁目 電話831-6332)
- 第2条 本会は会員の親睦と母校の発展に寄与することをもってその目的とする。
- 第3条 本会会員は正会員並びに名誉会員よりなり、正会員は札幌東高等学校卒業生及び準ずるものとし、  
名誉会員は札幌東高等学校旧並びに現職員とする。

## 第2章 役員及び組織

- 第4条 本会に名誉役員をおく
- (1) 名誉会長 1名 現母校校長
  - (2) 名誉顧問 若干名 旧母校校長
  - (3) 顧 問 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
  - (4) 相 談 役 若干名 幹事会において決定のうえ総会の承認を得た者
- 第5条 本会に次の役員をおく。
- (1) 会 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (2) 副 会 長 10名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (3) 幹 事 長 1名 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (4) 副幹事長 20名以内 正会員中より幹事会で選出し総会の承認を得た者
  - (5) 常任幹事 正会員中より各期の推薦に基づき会長が委嘱する。
  - (6) 幹 事 卒業時の各クラスより男女1名ずつ2名を選出する。卒業後7年を目処に、各期より若干名を改めて選出する。
  - (7) 監 査 役 2名 正会員より総会で選出する。但し前記役員とは兼任できない。
- 役員の任期は3年とする。但し再選を妨げない。
- 役員の任務は次のとおりとする。
- (1) 会 長 会務を総括し本会を代表する。
  - (2) 副 会 長 会長を補佐し会長事故あるときは、その任務を代行する。
  - (3) 幹 事 長 役員の分掌する任務を総括し、幹事会・常任幹事会及び執行委員会を主宰する。
  - (4) 副幹事長 総務・広報・組織・母校・会計の任務を分掌し、幹事長を補佐する。
  - (5) 常任幹事 本会事業の運営について協議し、執行委員会の任務を補佐する。
  - (6) 幹 事 会員間の連絡にあたり、幹事会に出席し組織強化に努める。
  - (7) 監 査 役 会計業務を監査し、会計の正常な運営を図る。
- 第8条 本会は次の機関をおく。
- (1) 総 会 本会の最高議決機関で年1回定期総会を開き、必要に応じて臨時総会を開催する。  
なお、定期総会の運営・実務は年次当番期が行う。
  - (2) 幹 事 会 総会に次ぐ議決機関で執行委員会の諮問事項を協議し、会の運営を協議、議決する。
  - (3) 常任幹事会 本会の事業計画、予算立案その他必要事項を協議する。
  - (4) 執行委員会 会長・副会長・幹事長・副幹事長で構成し、事業計画、予算立案その他必要事項を協議し、会の運営にあたる。

## 第3章 事 業

- 第9条 本会は会の目的達成のため次の事業を行う。
- (1) 総会の開催
  - (2) 会誌の発行
  - (3) 母校発展のための事業
  - (4) 本会の組織強化のための事業
  - (5) その他執行委員会で必要と認めた事業

## 第4章 会 計

- 第10条 本会の会計は正会員の会費・寄附金及び総会剰余金をもってこれにあてる。
- (1) 入会金は、2,000円とする。
  - (2) 年会費は、1ヶ年1,000円とする。
- 但し、毎年納付にかえて、一口10,000円を一時に納付することにより、終身会費とすることができる。
- 第11条 本会の会計年度は7月1日より翌年6月30日までとする。
- 第12条 監査役は会計年度終了時に会計監査を行い、その結果を総会に報告する。

## 第5章 附 則

- 第13条 会員は住所、姓名等一身上の異動があったとき、これをすみやかに本会事務局又は各期代表幹事まで連絡しなければならない。
- 第14条 会則の変更は、総会において出席者の三分の二以上の承認を得なければならない。
- 第15条 会計業務は、母校事務局で行う。
- 第16条 本会則は昭和35年8月21日より施行する。

一部改正～昭和49年8月23日  
昭和50年8月25日  
昭和51年8月25日  
昭和52年7月17日  
昭和56年8月22日  
昭和62年8月21日  
平成8年8月23日  
平成11年8月20日  
平成16年8月14日

北海道札幌東高等学校 同窓会役員名簿

平成18年6月現在

役 職	當 担	氏 名	郵便番号	卒業期	住 所	電 話	勤務先	電 話	Fax 等
顧 問		松 尾 静 江	高女22 東高01						
相 談 役		丹 保 仁	高女16						
会 副 會 長		小野寺 ツ 夫	高女16						
会 長		五十嵐 中 新太郎	東高01						
母 母	校 報	吉 中 泰 子	高女24						
母	織 務	秦 幸 子	一高01						
母	織 務	林 美 紗 大	東高02						
母	織 務	田 幸 信 靖	東高03						
母	組 組	高 川 陣 佐	東高04						
母	組 組	高 陣 佐	東高08						
母	母	木 内 枝 藤	東高09						
母	母	木 内 枝 藤	東高12						
幹 事 長	長	木 次 佐	東高14						
幹 事 長	長	山 佐 和 子	東高22						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高12						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	一高01						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高02						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高01						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高04						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高08						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高09						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高10						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高13						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高14						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高15						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高16						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高18						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高19						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高21						
幹 事 長	長	山 佐 保 博	東高22						

\*\*名簿メントナンス (株)廣済堂 札幌営業所(伊藤泰治所長) 060-0051 札幌市中央区南1条東3丁目10-1 北海道伊丹文化会館5F 電話241-0501 FAX241-0511

副幹事長	母広組	校報織組	忠靖辰也	高24 東高26 東高28 東高36
役員	監査	常任幹事	徳司倫也	高21 高女21 高女26 高女27 高女15 高女02 高02
			枝枝子子江子保	東高01 東高01 東高01 東高01 東高01 東高02 東高02
			輝幸光雅輝	東高01 東高01 東高01 東高03 東高04 東高04 東高04

# 母校は今、

(近況報告)

ホームページを開設しています。

「札幌東高校」で開きます。ここに紹介した部活動の戦績や卒業の進路先一覧についても、詳しく掲載しています。また、同窓会のページもあります。

## 全道大会戦績

### 【陸上部】(全国大会出場種目のみ)

- 男子走幅跳 第五位 (全国大会出場)
- 男子八百メートル 第二位 (全国大会出場)
- 男子百十メートル 第五位 (全国大会出場)
- 女子砲丸投 第四位 (全国大会出場)
- 女子四×四百メートル 第五位 (全国大会出場)

### 【体操部】

- 男子2部個人 総合十六位
- 女子1部個人
- 女子2部個人

### 【テニス部】

- 男子団体 六位
- 男子個人シングルス 第四位・第八位
- 女子個人ダブルス

- 男子個人ダブルス 第六位

- 女子個人ダブルス

札幌医科大学  
北海道教育大学  
室蘭工業大学

10 3 28 24 76  
 10 5 28 20 67  
 (2) 大学別合格者数 (一部抜粋)  
 道外私立大学 24 196 55 141 194 35 159  
 その他の学校 29 209 44 165 174 40 134

### 【卓球部】

- 男子団体 ベスト8
- 男子個人ダブルス
- 男子個人

### 【柔道部】

- 男子個人60kg級
- 女子個人57kg級

### 【バスケットボール部】

- 男子 2回戦進出

### ■ 今春卒業生の主な進路先一覧

(1) 合格者数集計  
 国公立大学以外は延数。(—) 内は前年度数

道内国公立大学  
道外国公立大学  
国公立大学 計

道内私立大学  
道外私立大学  
私立大学 計

男子2部個人

女子1部個人

女子2部個人

総合十六位

男子団体

六位

男子個人シングルス

第四位・第

八位

男子個人ダブルス

第六位

女子個人ダブルス

女子個人ダブルス

### 同期会助成金について

親睦の和を広げる同期会の助成金について、お知らせいたします。

(1) 目的 同期間の交流を拡大し

(2) 基準 卒業期全体を対象とする同期会とし、年1回に限る。

(3) 金額 1回につき、一万円とする。但し、初回は三万円とする。

(4) 手続 同期会開催通知(案内状等)に参加(予定)人数と銀行振込口座を付記して、事務局へ郵送又はファックス送信する。振込先は、同期会代表者又は会計担当者とする。

### あとがき

今年度の会報お届けいたします。ご多忙中、原稿をお寄せ頂きました皆様には深甚なる感謝を申し上げます。

なお 同期会周年行事情報など寄稿を同期会広報部にお知らせ下さい。

さ

※ 事務局の住所・ファックス番号は、P14の役員名簿参照

会報希望の方は母校古江事務局長へお申し出下さい。

会報希望の方は母校古江事務局長へお申し出下さい。

